

2年生指導計画お手紙

時	ねらい	学習活動	評価規準	指導、援助
1	「お手紙」の題名を読み、手紙を書いたりもったりした経験を発表しあうことができる。	・手紙を書いたり、もったりした経験を発表し合う。 ・全文を読み(範読を聞き)、おもしろいと思ったことなどをノートに書き発表する。 ・学習計画を立てる。	関心・意欲 ・お話に興味をもち、楽しく学習しようとしている。 話すこと・聞くこと ・感想を発表し、めあて	・なかなか書けない子には、どこがよかったか直接聞き、書き出しを教える。
2	会話文に気をつけて読み、場面の様子や登場人物の気持ちを想像することができる。	・だれの会話文か考えながら全文を読む。 ・場面ごとにだれの会話文かを確認し、「 」の上に印をつける。	読むこと ・それぞれの会話文から、場面を想像し、だれの言葉かを正しく捉えている。	・登場人物の会話をとらえられない子には、会話文の前後に注目するよう助言する。
3	「一の場面」を読み、手紙をもらえなくて悲んでいるがまくんの気持ちを読み取ることができる。	・「一の場面」を音読する。 ・がまくんの気持ちがわかる部分に、線をひき、発表する。 ・挿絵を参考にして、二人の様子を動作化してみる。	読むこと ・場面の様子やそのときのがまくんの気持ちを想像しながら読んでいる。 話すこと・聞くこと ・どの言葉から想像したか根拠を明らかにして話している。 ・自分の考えと比べながら聞こうとしている。	・挿絵の拡大図を準備する。 ・線をひくときの約束を確認する。
4	がまくんの気持ちや場面の様子を想像しながら音読することができる。	・前時に読み取ったことをいかしながらがまくんの気持ちになって音読する。 ・二人で交代に役割読みをする。 ・それぞれどんなところがよかったか発表し合う。	読むこと ・がまくんが、手紙をもらったことがなくて悲しい気持ちであることを読み取り、声に出して読んでいる。	・線を引いたところは特に気をつけて読むよう助言する。 ・がまくんとかえるくんの気持ちは違うため、読み方を工夫して変える方がよいことに気付かせる。
5	「二の場面」を読み、がまくんを思うかえるくんの気持ちを読み取ることができる。	・「二の場面」を音読する。 ・かえるくんの行動を順序よく読み取り、ワークシートに書き込む。 ・かえるくんの行動について発表し、確認しあう。 ・かえるくんのしたことから、がまくんを思う気持ちがわかるところに線を引く。 ・かえるくんの気持ちを考えながら音読する。	読むこと ・かえるくんの行動を順序よく読み取り、様子や気持ちがわかるように音読している。 話すこと・聞くこと ・どの言葉から想像したか根拠を明らかにして話している。 ・自分の考えと比べながら聞こうとしている。	・ワークシートは動詞の部分に空欄にしたものを用意する。 ・「大急ぎで」「家からとび出した」などの言葉に注目させる。
6	かえるくんの行動をテンポよく音読することができる。	・前時に学習したことを思い出しながら、かえるくんの行動を確認する。 ・音読カードにめあてを書き、かえるくんの気持ちを考えて音読する。 ・学習を振り返り、音読カードの振り返りコーナーに記入する。 ・自分のよかったところ、友達のよかったところも記入する。 ・振り返りコーナーに書いたことを発表する。	読むこと ・かえるくんの行動を順序よく読み取り、かえるくんの気持ちを想像しながら読んでいる。 話すこと・聞くこと ・友達の音読でよかったところを発表している。	・テンポよく音読させる。 ・音読カードの準備
7	「三の場面」を読み、二人の会話を比べながら、二人の気持ちを読み取ることができる。	・「三の場面」を音読する。 ・二人の会話文をワークシートに書き出す。 ・二人の様子や気持ちのわかるところに線を引き、発表する。	読むこと ・二人の様子を想像しながら読んでいる。 話すこと・聞くこと ・どの言葉から想像したか根拠を明らかにして話している。 ・自分の考えと比べながら聞こうとしている。	・ワークシートの準備
8	二人の気持ちが表れるように音読することができる。	・がまくんとかえるくんの様子や気持ちを確認する。 ・音読カードにめあてを書き、がまくんとかえるくんの様子や気持ちを考えて、声に出して読む。 ・学習を振り返り、音読カードの振り返りコーナーに記入する。 ・自分のよかったところ、友達のよかったところも記入する。 ・振り返りコーナーに書いたことを発表する。	読むこと ・二人の会話文を対比させ、様子や気持ちを想像しながら読んでいる。 話すこと・聞くこと ・友達の音読でよかったところを発表している。	・わかりにくい場合は動作化させる。 ・音読カードの準備。

9	「四の場面」を読み、場面の様子や幸せそうな二人の気持ちを読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「四の場面」を音読する。 ・がまくんとかえるくんの気持ちがわかる場所に線を引く。 ・がまくんとかえるくんの気持ちが「とてもしあわせ」に変わっていくところを探して印をつける。 ・がま君とかえるくんの様子や気持ちがわかることを発表し話し合う。 ・二人のとてもしあわせな気持ちを想像してワークシートに書く。 ・二人の様子や気持ちを想像して音読する。 	<p>読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書かれている事実をもとに、二人がとても幸せになった様子や気持ちを想像しながら読んでいく。 <p>書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人の気持ちを想像して、ワークシートに書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの準備 ・動作化
10	それぞれの場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら全文を音読することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・お手紙が4日たってからがまくんの家に着いたときの3人の気持ちを想像してワークシートに書き、発表する。 ・今までの学習を振り返り、場面ごとに音読する。 	<p>読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全文を通して3人の様子や気持ちを想像して読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの準備 ・登場人物になったつもりで音読させる。
11	これまで学習してきたことをもとに、役割を決めて音読することができる。(練習)	<ul style="list-style-type: none"> ・役割を決める。 ・工夫して読みたいところを考える。 ・場面ごとに印をつけたいところを確認して練習する。 	<p>読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を振り返りながら、場面の様子や気持ちを想像して音読の練習をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読カードの準備。
12	音読の発表をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫するところを確認して発表する。 ・よいところカードにお互いの読みのよかったところを書く。 ・よいところカードに書いたことを発表し合う。 	<p>話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの読みのよいところを見つけたり、工夫して音読したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よいところカードの準備。
13	登場人物にあてて、手紙を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書P18の手紙の例を参考にする。 ・だれに当てて手紙を書くか決める。 ・何を伝えたいか考える。 ・手紙を書く。 	<p>書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習してきたことをもとに、手紙を書く相手を決め、内容を考えて手紙を書いている。 	
14	書いた手紙を発表することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの書いた手紙を発表し合う。 	<p>話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた手紙を発表し、お互いのよいところを見つけて話している。 	
15	「何が どうした」を読んで、主語と述語の意味を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「お手紙」の学習を振り返り、会話や行動の文から「だれが」言った言葉か「だれが」した行動かを考えて読んだことを思い出す。 ・教科書P19を見て、主語と述語の意味と関係を知る。 ・主語だけ、述語だけでは相手に伝わらないことを知る。 	<p>言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何が(だれが)」「何は(だれは)」が主語で、「どうした・どんなだ」が述語であることを知り、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語がないと相手に伝わりにくいことを具体的に示す。
16	具体的な事例を通して、「なにが」「どうした」の文を作ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「なにが」「どうした」の文を作り、発表する。 ・文を作ることで主語と述語の関係を理解する。 	<p>言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何が(だれが)」「何は(だれは)」が主語で、「どうした・どんなだ」が述語であることを知り、理解している。 	
17	教科書の絵を見て、主語と述語の関係を見つけ、文を作ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書P20の絵を見て文を作る。 	<p>言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語の意味と関係を理解し、教科書の絵にあった主語と述語が整った文を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机脇指導
18	書いた文を発表し、確かめ合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・作った文を発表する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・文を発表することで、主語と述語がそろっているかどうか子どもに確認させ